

武者修行×那智勝浦町

東京への一極集中が進む現在の日本において叫ばれている地方創生。東京への一極集中から地方分散へと転換させるために必要なモノ、それは自分たちの地域を面白いと感じるその地域に住む人の熱量ではないでしょうか。

2020年度、那智勝浦町に北は東北、南は九州から多くの大学生たちが来てくれて、「町の課題を解決に導くビジネスプランをつくる」そんな2週間の武者修行プログラムが行われました。

近くに大学のない那智勝浦町、大学生が町の中で活発的に動き回っている光景は自然と住民の目にもとまります。自走式エンジンを積んだ人類2.0への変態を狙いとした武者修行プログラムは、学生たちだけでなくその地に暮らす住民にもプラスの影響をもたらすものでした。

「学生が何かやっているけどあれは何なの?」「○○って子にこんなこと頼まれてやってあげたよ!」町の中で普段とは違う新しい風を感じる声や協力を楽しむ報告を耳にして学生たちとの距離が縮まって、地域の熱量が上がっているのを感じていました。

学生たちは町の中にある課題に正面から向き合い、課題にコミットしたプランを考え、磨き、実践する姿を見せてくれます。課題の外から口だけの提案ではなく、課題解決に取り組む姿を見せてくれたのです。その姿は地域の人たちの目にどう映ったのでしょうか。町の課題に対して、自分たちは何が出来るのか。どこか諦めていた町の課題にジブンゴトとして取り組む、そんなきっかけをもらえたように思います。

プログラム終了後、学生たちは那智勝浦町のことを本当に好きになってくれて何度も訪問してくれています(なんと移住まで!)。地方ではなかなか得ることのできない大学生との深いつながり、地域の中での新しいつながり、いろんなつながりから共創されるものこそが「地方創生」だと感じている次第です。